

# SSKU YKRふあみりー通信

◇2014年11月号 No. 55◇  
編集：特定非営利活動法人  
全国薬物依存症者家族連合会  
〒121-0813  
東京都足立区竹の塚5丁目18-9  
竹の塚マンション207  
TEL03-5856-4824  
FAX03-5856-4827  
<http://www.yakkaren.com/>

全国家族会の皆様へ

家族会を立ち上げて、十年経ち、薬家連もこれから新たな旅立ちに向かい、私からお願いがあります。10年前立ち上げたときに、2万円の会費で200名が支援していただき、スペインの施設の人達を呼んで東京でフォーラムをやり、活気ある前途を目指し薬家連のスタートでありました。

このところ、十年経ち、色々なところに家族会も出来て、理事さんたちも一生懸命努めていただけました。今もなお、林会長を中心とし、薬家連の運営をやっていただいております。

立ち上げた者として感謝申し上げます。さて、今家族会は、重要な時期にあり、国に対し色々申しましたが、近年、家族会フォーラムには人数の集まりが少なく、国にお願いするにも会員数が少なく、相手にされなくなります。この程、28年度から法律が変わり、刑務所から家族の下に戻る人達が多くなり、家族は、また薬を使われて苦しい立場がやってきます。これから先、薬物依存者をダルクに繋げるにしても、生活保護の改正があり、段々入寮者を受けの事が難しくなります。そこで、薬家連の活動が、家族の皆様を助けられる行動に移していかなければならないところまで来ております。紙面では、お金の事ですので書きませんが、いつかどこかで、皆様に伝えなければいけないと思っております。

家族の皆様を支援するにしても、家族の皆様が立ち上がり、国に対し、団体を見せ付けて、生活保護費削減などの改革を止めさせないと、家族が負担する費用が増えてまいります。私はダルクにいて、家族会もダルクも見えておりますが、家族の皆様が苦しんでいる姿も家族会の中で見えてはいますが、私たちが立ち上がり、誰かに伝えなければいけないときに来ております。各ダルクによって、住宅扶助などの生活保護の受給金額が極端に違い、薬物依存者を一人入寮させると、生活保護ではどうすることも出来なくなってまいりました。そのために薬家連の活動が凄く重要になっています。国は、薬物依存専門の病院を地域に4箇所作るとか、色々動きかけてはいますが、余にもお粗末で、家族が助かるころまで進んでおりません。もう一つは、会費の問題が話し合われていると聞いておりますが、今の会員の皆様は、一人の会員を紹介し、新たな家族会単位の薬家連にされると聞いておりますが、薬物依存者のためにも、家族のためにも、もう一度真剣に考え、立ち上がる時ではありませんか。立ち上がらなければ家族の皆様は、苦しみを一人で悩み、背負って歩かなければならないと思います。全国の薬物依存症者を抱えている家族の皆様、もう一度みんなで立ち上がって新たな薬家連を目指していただけないでしょうか。私も出来る限りもう一度、皆様と一緒に歩いてみたいと思います。会員数が800人以上の薬家連をみんなで協力し、やってみませんか。なぜ会員数が800人かと言いますと、一家族に4人として、 $800 \times 4 = 3200$ 人になると、国も団体としての価値を認め、相手をしてくれるようになります。そのためにも、会員の皆様ももう一度、手と手を繋いで、新たな薬家連をみんなでやっていただきたいと、心から願っております。みんなで家族と依存者を守るべく力を貸していただきたいと思います。



神に感謝

茨城ダルク 今日一日ハウス

代表 岩井 喜代仁

## 国の薬物依存症研修事業に参加しましょう

平成26年度 厚生労働省は 薬物依存症者の治療・社会復帰支援として下記の研修事業を実施します。

依存症家族研修事業 平成26年11月7日（金） 横浜産業貿易センター

依存症回復施設職員研修事業 平成27年1月28日（水）～1月30日（金）横浜  
貿易センターにて開催します。各家族会にはすでに案内が届いていると思います。

依存症を持つ家族に対し、依存症を支える家族関係についての理解や依存症に関する正しい知識の習得、再発を早期に発見できる観察者の役割を果たすために必要なスキル等についての習得・理解を図ることを目的とした研修です。各家族会も参加しましょう。

### 〈厚生労働省〉脱薬物依存を支援…全国で治療プログラム導入へ

危険ドラッグが原因の暴走運転が相次ぐなど薬物乱用問題が深刻化していることを受け、厚生労働省は薬物依存症からの回復効果がある「認知行動療法」に基づく再乱用防止プログラムを全国すべての精神保健福祉センターに一斉に導入する方針を決めた。2015年度予算の概算要求に専門職員の人件費や研修費約1億4000万円を盛り込んだ。

各センターの専門職員1人分の年間人件費約300万円の半額を同省が助成する。

（毎日新聞9月21日）より

厚生労働省はこの事業に関して150万円出すが、県がこのプログラム導入することを決め150万円の予算を新規に設けない限りは地域の薬物依存支援にはなりません。薬家連が厚労省にはたらきかけをして、要望書を提出しているように、各家族会は知事に対してこの事業に対して予算がつくようはたらきかけをしてください。この県にも薬物問題で困っている家族がいる。支援が必要であることを訴えてください。

### 平成26年度再乱用防止対策講習会について

厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課の主催で全国6ブロックにおいて薬物乱用防止講習会が開かれています。薬家連は4年前から依頼を受け各家族会にお願いして担当者を選出しています。

今年度も以下のブロックにおいて担当者をお願いいたしました。

（主旨）厚生労働省においては、地域における薬物乱用の防止に関する知見向上を図るべく、再乱用防止対策講習会を地域の薬物乱用にかかる相談担当者（精神保健福祉センター・保護司・医師・保護観察所。ワーカーなど1会場に100名ほど参加されます）や一般の方々（一般の方々は少ない）に向けて開催しているところです。毎年6会場は県の開催担当が変わります。3時間の講習会での議事については

- \*最近の薬物乱用防止を取り巻く環境（厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課）
- \*「薬物依存に関する考え方・理解促進に向けて」（国立精神・神経医療研究センター和田研究班）
- \*「地域における再乱用防止の取り組みについて」（都道府県、精神保健福祉センター）（今年度から初講演）
- \*「薬物依存症者と地域を結び付けるために」（特定非営利活動法人 全国薬物依存症者家族連合会）

会場等一覧

地区	開催日時	会場	担当者
北海道 東北	平成26年10月29日（水） 午前9時～正午	福島テルサ 福島県福島市上町4-25	仙台家族会
関東 信越	平成26年9月30日（火） 午後1時30分～午後4時30分	メルパルク横浜 神奈川県横浜市中区下町16	川崎家族会



- ・ご存知のように家族だけではどうしようもない場合が多いので一緒に考えましょう。
- と呼びかけていますが、3回以上の逮捕経験が無いと家族は「今回は反省しているから」ということで家族会にもつながりません。そして本人は3年から7年くらいすると又再乱用、逮捕され家族教室に参加しますね。
- ・実際は、どの様にお誘いしたら家族会に参加していただけるか？そのことが本人にとって早期の回復の保障であり重症患者への歯止めでもあること等お話ししていますが、参加いただけません。難しいです。
- ・なので家族会でなくても精神保健福祉センターでも良いから参加をお願いします。

#### ⑥各人の持っている相談や悩みについて

- ・本人、家族共に依存症について理解がないと、必ずと言ってよいほどトラブルが発生する。ですから、体験談や学習した事を交えて家族の本人への考え方、話し方等の接し方についてどのようにしたら良いか話し合っています。
- ・具体的な悩み事の相談も参加者の皆さんと共有しています
- ・保護司さんや監察官の方にも同席していただき、色々な角度から出てきた相談や問題点について意見なども頂いています。

⑦参加者常連になり本人の保護観察期間が切れるまで継続参加されています。

⑧家族会の紹介と名刺を渡していつでも相談してくださいと呼び掛けています。

同じ立場の家族からの言葉は、ご家族にとってとても助かります。

後は積み重ねだと思えます。

頑張ってください。応援しています。



お世話様です。

「薬物事犯者引受人会での講演依頼」の件です。

法務省作成の「薬物依存症」のDVDの事を聞きました所、仙台保護観察所にあるのは、

「ステップバイステップ」(アルコール等他の依存症の中に薬物もある)というDVDは有りますとの回答でした。

同じものでしょうか？

「薬物依存症」のDVDの事、詳しい事がわかりましたらお教えてください。

よろしくをお願いします。



お問い合わせのありましたDVDは以下のように表示されております。

2枚のDVD ディスクになっており、

DISC 1 基礎編

Stepby Step ~新しい生活へ~

- ①依存とは
- ②依存の影響
- ③依存への対処法

DISC 2 応用編

Stepby Step ~新しい生活へ~

- ①薬物依存
- ②アルコール依存
- ③さまざまな依存



終了後の懇親会はホテルのプールサイドでのバーベキュー。サンセットの海を眺めながら南国ムード満点。食後に沖縄ダルク家族会の方たちと短い時間でしたが濃い時間を過ごせました。岩井さんがとてもうまく流れを作って紹介してくれ、初めて会った仲間とあっという間に距離が縮まりました。ほんとうにもっともっと話していたかったです。

沖縄ダルク家族会はまだ設立2年目で正式代表者も決まっていらないようですが、これから代表者を決め、薬家連にも協力してくれると約束してくださいました。この日は10名ほどの仲間が参加していましたが、普段はもっと少なく、ビギナーの参加がなかなか続かないそうです。病院に入院すれば同室の人が全部知り合いだったというくらい、沖縄の社会が狭いせいだとおっしゃってました。同じような悩みを抱えている家族会は多いと思います。こんな問題も家族会間で分かち合えたらいいなと思いました。先日提案のあった地域毎の家族会交流は必要とされていると思います。

ワイワイがやがや仲間との気の置けない旅は楽しい！泊りがけ家族会よりさらに仲間意識が強くなります。

こんな旅を企画してくれた仲間へ感謝。こんな機会を与えてくれた本人へ感謝。沖縄の皆さん本当にありがとうございました。

旅で出会ったすべての人に感謝です！



## やっかれん全国家族会議ご案内と臨時総会開催のご案内

さて、全国家族会議を下記の通り開催いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。尚、やっかれんはNPO法人ですので、会費の改正、会員制度の改正、名称の変更については総会の議決が必要です。

総会の案内は個人別に別途お送りしますが、この全国家族会議の後、午後3時～4時に臨時総会を開催いたしますので、ご承知下さい。

### 開催内容

- 1) 開催日時 平成26年11月30日(日)午前10～午後3時（受付 午前9時30分）
- 2) 開催場所 会場：名古屋市市政資料館（ウイルあいちの隣）  
住所：〒461-00110 名古屋市東区白壁1丁目3番地  
TEL：052-953-0051 FAX：052-953-4398  
名古屋市地下鉄市役所駅②出口から徒歩8分
- 3) 議題
  - ① やっかれん（NPO全国薬物依存症者家族連合会）の組織改変  
従来家族の連合会であったものを家族会連合会と改変する件
  - ② 組織改変に伴い、会員会費の徴収方法を変更する件
  - ③ 会員会費を改正する件
  - ④ ビギナー会員制度を設ける件
  - ⑤ 家族会を地域ごとにブロック化する案
  - ⑥ 家族会間の相互交流や協働活動の推進
  - ⑦ 全国家族会議の役員体制や会議の持ち方
  - ⑧ やっかれんに与しない家族会への働きかけの方法
  - ⑨ 事務局体制の簡素化・効率化
  - ⑩ やっかれん事業（フォーラム等）のあり方

## 理事会議事録

平成26年10月5日 10時～16時 竹ノ塚事務所

林理事長、片山、横川、川上、池田、松井、前田、重光、柴田

全国家族会議、臨時総会、活動報告：議題

メッセージ活動報告

前田 9/13 岡山家族会に参加。10/12 北九州家族会に参加予定。

横川 9/13 静岡のビリーブの合同の家族会にビリーブ立ち上げ祝い金を持参。ご苦勞に敬意を表し挨拶。

体験談、やっかれんの方向性、組織体、会費について報告。

松井、横川 9/20 沖縄フォーラムに参加、沖縄家族会9人、茨城家族会14人が岩井さんを中心に交流しました。

議題：行政のヒアリング、厚労省、法務省、内閣府。

8/5 岩井さんほかダルクから2名参加、合計11名出席。

○ダルクスタッフの参加が大事と思った。問題が明らかになってきたと思う。

- ・法務省のダルクが運営する自立準備ホームに対する補助金の考え（6ヶ月を超えて支給するのは、入所者の状況を判断している）が明らかになった。
- ・出所者の刑務所内での処方情報は入手可能ということが分かった。
- ・生活保護と居住地の関係が明らかになった。

○薬物事犯の裁判は形骸化しているとの質問を法務省にしたが、それは司法の問題であり、管轄外との返事。法務省から司法に話がいくという構造ではないことがわかった。

○岩井さんの依存症とはという質問には、WHOの定義だけ相手はしゃべり、病気であることを認めない姿勢が分かった。

○担当が大幅に変わり、内閣府が危険ドラッグの取り締まりを強化しているが、治療の方に話が全くいっていないことを感じた。

後日談（林理事長）

危険ドラッグの回復に1億4千万円の概算要求が出ているが、予算があっても、半額を負担する県が実行する方針を決めないと、予算が消化されない。

愛知県では、スマーブを独自に考えているが、その予算は130万円であり、国の予算より安いので（県の負担が）そちらをとるようだ。

議題：厚生労働省の薬物依存症職員研修会の開催（と出席）

10/10 までに申し込み必要。11/7 開催。

議題 全国家族会議 11月30日

- 全国の家族会の確認
- 理事の選出方法など議論が必要
- 賛助会員は家族以外の方というような定義をしていく必要があるのでは。
- 家族会連合会は家族会単位で入会するので、家族会単位で支払うことになる。定款は変更する必要あり。
- 家族会連合会に変えるための定款の変更、会の名称変更のみ申請する。事業目的は変更しない。

臨時総会開催 11月30日

議決事項

- ① 名称の変更
- ② 正会員会費の変更
- ③ ビギナー会員制度を設ける。 定款変更案も作って出す。

提案できるアイデア 家族会向けのマニュアルづくりについての提案について。

○家族会の運営上の対応策、工夫していること。

○助成金申請のアイデア（具体的申請例の紹介）

○講師の紹介（講師一覧）

○会場のとりかた この程度はお互い情報交換できるのではないのでしょうか。

議題：認定NPO申請

小規模企業の特例を適用すれば、現在基準に到達している。  
平成28年に申請が出来る見込み。

議題：政策班の今後の動き

国は精神障害（薬物依存が原因した）を病気と認めている。  
8/5の厚生労働省ヒアリングのまとめ（川上）  
「答弁の整理と、改めての質問主意書案」  
当日の議事録を読んで、質問主意書にまとめたい。

議題：日工組の助成金

進捗状況報告：ほぼ進んでいる。  
メッセージ活動をしていただいた方の印象はよい印象を得ていただいている。  
受け入れてくれた家族会の方もよい印象をいただいている。

議題：WAM助成金の進行

愛知家族会の資料を参考に前向きに考える。

議題：会費の変更

会費変更の通知は、総会終了後会員全員に送る。  
会として入会する場合は、4月30日までに名簿を事務局に送ること。  
（個人会員と、会参加の会員を分別する、会費の請求先を個人のみに整理するため）  
会として入会する場合は会費を納める時期を事務局に報告する。

次回理事会 平成27年1月31日（土）

（平成26年6月24日～10月24日受付順）

○上記の期間に家族会費を納めてくださった皆様 63名様

皆様のご協力に感謝いたします。

今後も薬家連の活動にご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

発行所

157-0073

東京都世田谷区砦 6-26-21

特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価 100円（会費に含まれる）